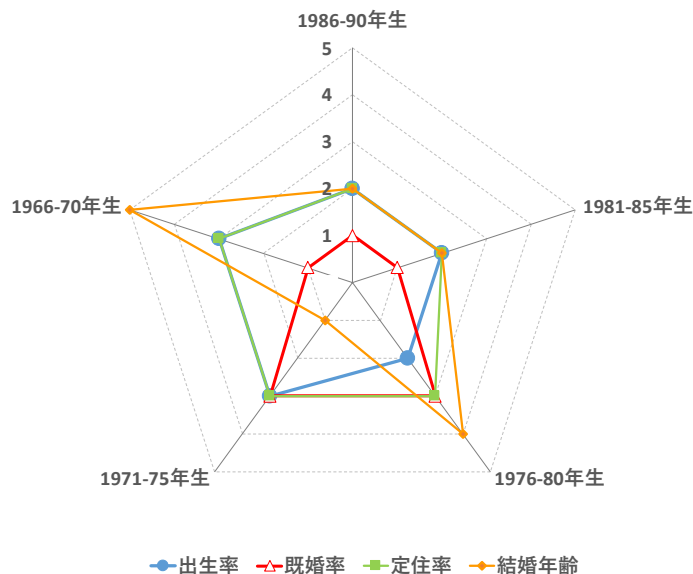


(26) 湯沢町

①出生に関する総合評価

図26-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

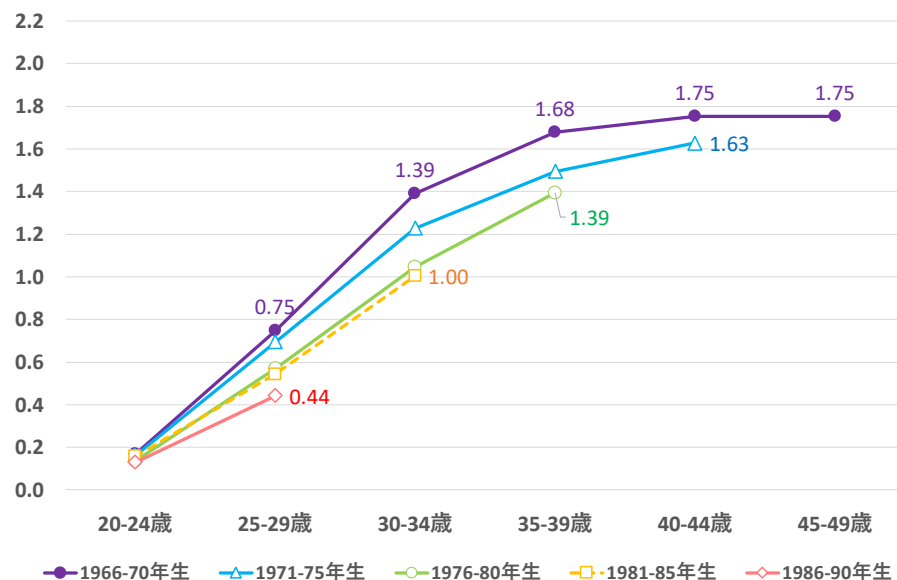
1. 合計出生率は、1966-70年生まれと1971-75年生まれは中位であるが、1976-80年生まれから1986-90年生まれまでは下位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは最下位であるが、1971-75年生まれと1976-80年生まれは中位である。
3. 女性定住率は、1981-85年生まれと1986-90年生まれは下位であるが、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれは中位である。
4. 女性結婚年齢は、1966-70年生まれは最上位、1971-75年生まれは最下位、1976-80年生まれは上位、1980年代生まれは下位である。

【総合評価】

1. 湯沢町は、結婚年齢のコホート間のばらつきが大きい以外は、既婚率も定住率も全コホートで中位以下である。同様に、合計出生率も全コホートで中位と下位であり、低いグループに属している。
2. 子どもが生まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代後半生まれから1人を下回り、1980年代前半生まれは0.9人を下回った。1980年代生まれは、25-29歳時点の既婚率が1970年代前半生まれよりもさらに低下したことから、特に20歳代後半の出生率が低下している。今後、25-34歳の出生数を回復できるかは、30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。併せて、1980年代生まれの25-29歳時点の女性既婚率が著しく低下した要因の解明も必要である。
3. 25-29歳以降の女性定住率は1980年代生まれのコホートで0-4歳時点の50%台であり、これが回復しなければ、人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

②コホート合計出生率

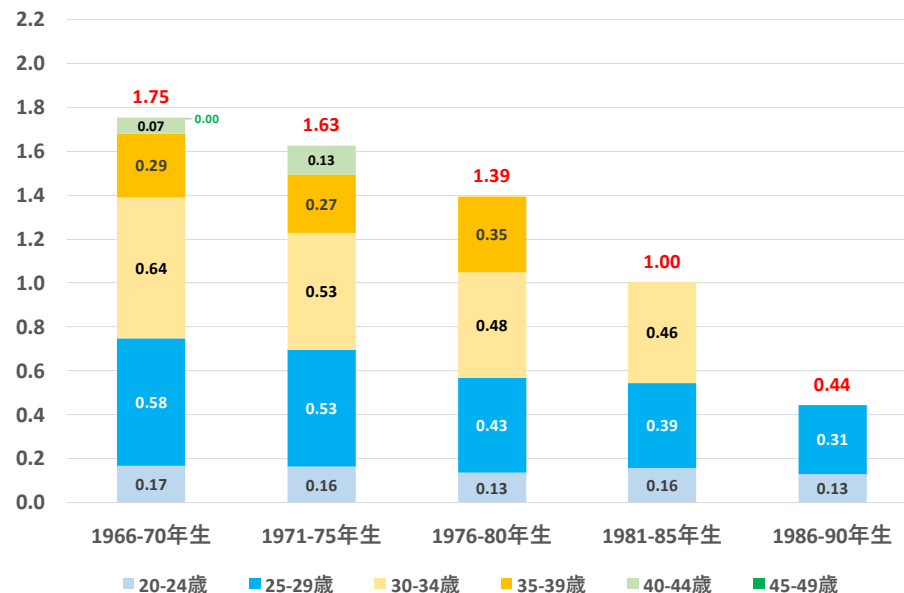
図 26-2 コホート合計出生率の推移



注：. 新潟県「福祉保健年報」より作成.

- ・ 図 26-2 は、湯沢町のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の低下がみられる。
- ・ 1976-80 年生まれと 1981-85 年生まれのコホートは、1971-75 年生まれよりも低下しており、1986-90 年生まれは 25-29 歳の合計出生率がさらに低下している。

図 26-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

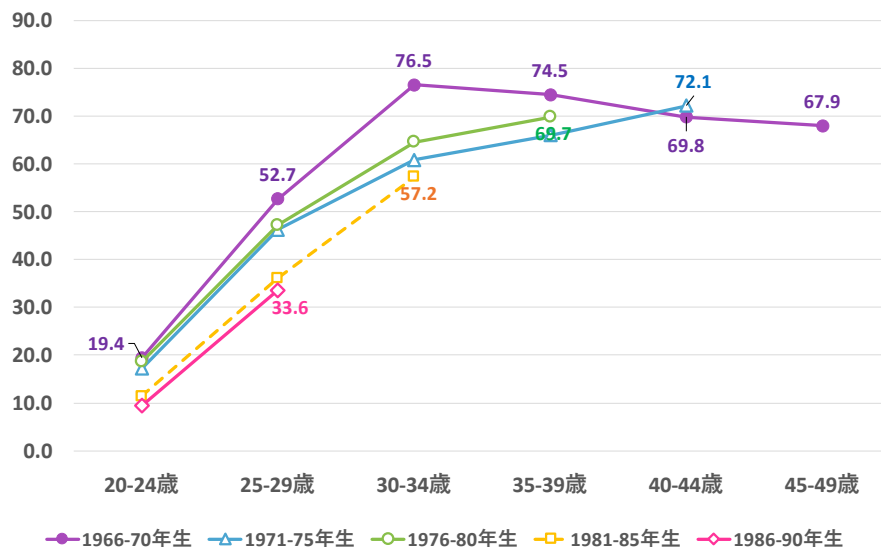


注：新潟県「福祉保健年報」より作成. 四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある.

- ・ 図 26-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.75 人に対して、1986-90 年生まれは 0.44 人に大きく減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.93 人に対して、1976-80 年生まれは 0.83 人に減少している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1976-80 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.85 人に減少した。

③コホート別既婚率

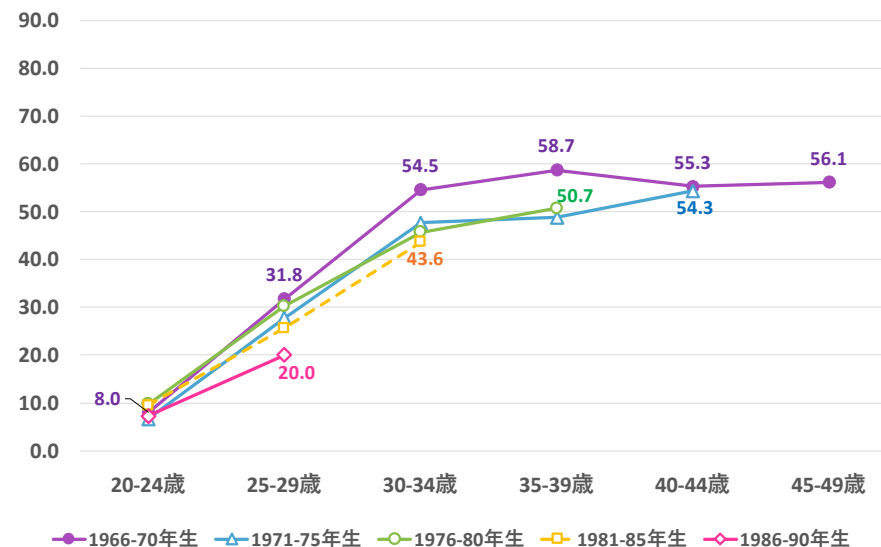
図 26-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 26-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 52.7%から 1986-90 年生まれは 33.6%へと 19.1 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 74.5%から 1976-80 年生まれは 69.7%へと 4.8 ポイント低下している。

図 26-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

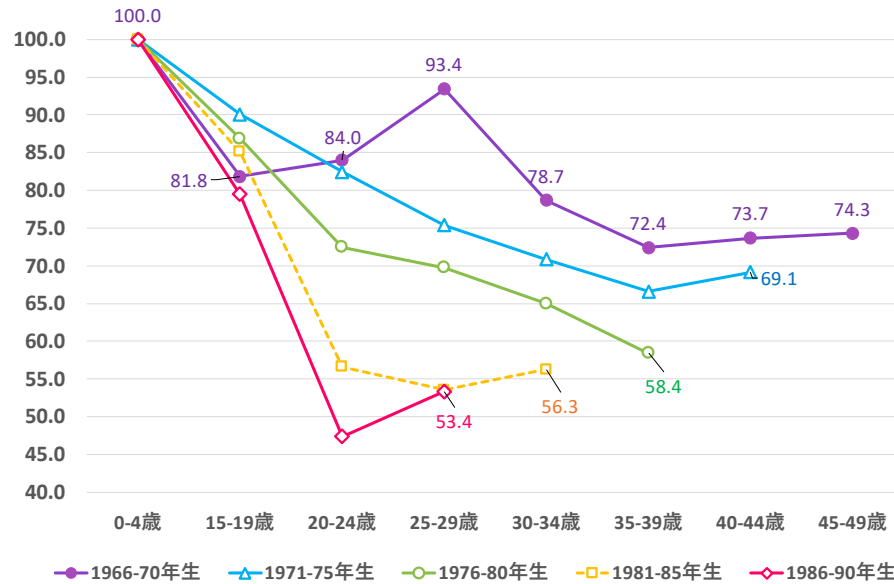


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 26-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 31.8%から 1986-90 年生まれは 20.0%へと 11.8 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 58.7%から 1976-80 年生まれは 50.7%に 8.0 ポイント低下した。1986-90 年生まれの 25-29 歳の既婚率は、20.0%と大きく低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%前後に達するが、男性は 60%に満たない水準に止まり、県内でも男性既婚率が特に低い。

④コホート別定住(残存)率

図 26-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

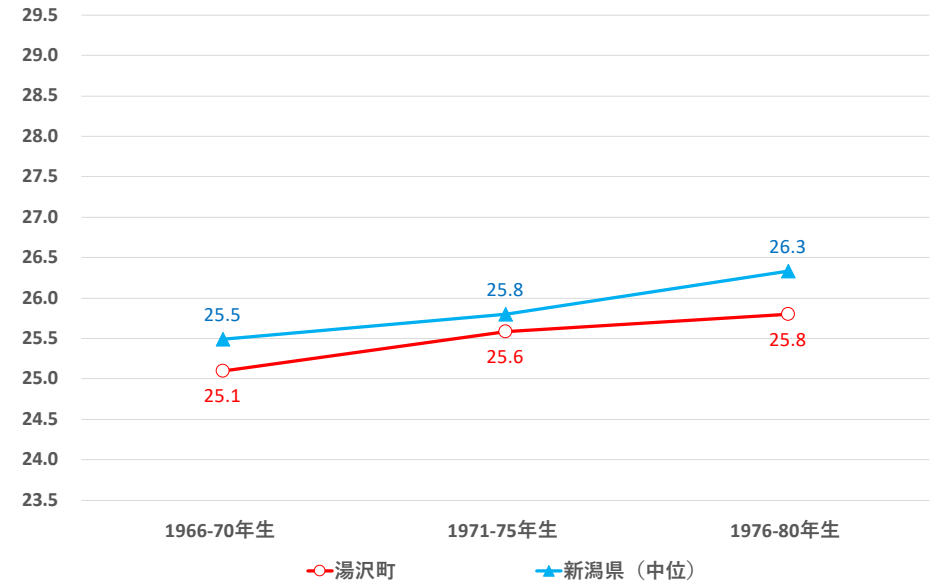


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 26-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの93.4から1986-90年生まれは53.4に40.0ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの72.4から1976-80年生まれは58.4に14.0ポイント低下した。
- ・ 湯沢町では、25-39歳時でみると、1966-70年生まれの定住率は0-4歳時点の70%台を維持していたが、1970年代生まれ以降は大きく低下して、1980年代生まれは50%台半ば前後まで低下した。

⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 26-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

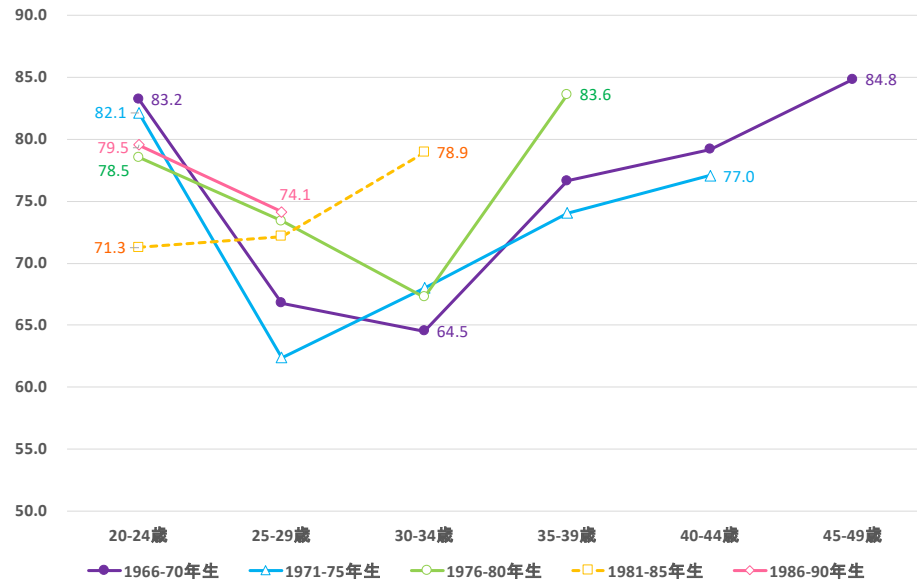


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 26-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.1歳、25.6歳、25.8歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.7歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は8位、1971-75年生の県内順位は9位、1976-80年生は6位と平均結婚年齢が県内で比較的早い自治体の一つである。

⑥コホート別女性就業率

図 26-8 コホート別女性就業率 単位：％

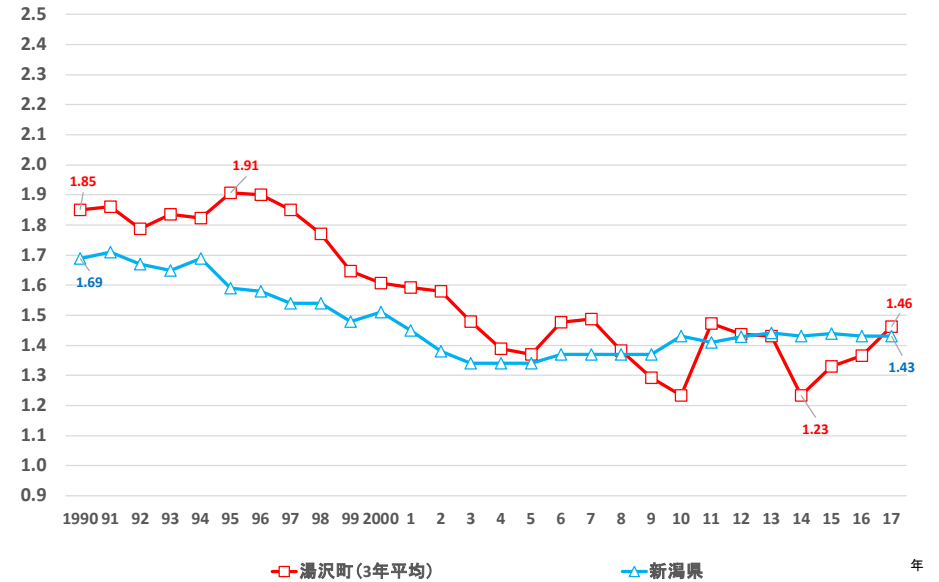


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 26-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1981-85 年生まれのみ上昇しているのに対し、それ以外のコホートでは低下している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると、1966-70 年生まれは 64.5%であったのに対して、1981-85 年生まれは 78.9%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 25-29 歳から 30-34 歳時点での M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 26-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 26-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と湯沢町（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990-2008 年は、湯沢町の期間合計特殊出生率は一貫して新潟県平均より高いが、それ以降は新潟県平均を下回る年が多くなっている。期間平均では 0.09 ポイント高い。
- ・ 湯沢町の期間合計特殊出生率は、1995 年の 1.91 をピークに低下しているが、2014 年の 1.23 を底に 2017 年には 1.46 まで改善している。